

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	商工振興助成事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	7 款 1 項 2 目	事業番号	3150	所属長名	小笠原幸男
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	岡市裕二	
法令根拠等	伊予市商工振興事業費補助金・伊予市双海中山商工会等活動経費補助金・伊予市双海中山商工会商品券発行事業費補助金・伊予市商工会等地域活性化支援事業費補助金・創業支援事業費補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 活力ある商業・工業の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	商工業の振興のため、伊予商工会議所及び双海中山商工会が円滑な活動を行えるように支援する。						
事業の対象	伊予商工会議所・双海中山商工会			事業の目的	商工会議所や、商工会等の組織を強化し、会員の充実・後継者の育成確保・女性部活動の活発化を積極的に推進する。また商品券の発行など地域住民の消費需要の地域内消費を推進する。		
事業の内容 (整備内容)	市内商工業の振興及び改善のため、運営事業費・小規模事業推進対策費・大型店対策事業・青色申告・商工振興対策・商店街近代化対策事業及び商品券発行により地域活性化事業・創業スクール開催事業等			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	27,325	27,536	0	0	0	27,282	伊予商工会議所会員数	人	827	827		813
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0							
県支出金	0	0	0	0	0							
地方債	0	0	0	0	0							
その他	0	0	0	0	0		双海中山商工会会員数	人	200	200		189
一般財源	27,325	27,536	0	0	0	27,282						
職員の人工(にんく)数	0.36	0.15				0.15	中心市街地店舗数	店舗	94	94		94
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	30,199	28,735				28,481						
主な実施主体	伊予商工会議所、双海中山商工会		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)	補助金(27,325千円)			中心市街地空き店舗数	店舗	30	30		30
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					30,000	30,000	30,000	30,000		120,000		
成果指標	指標	伊予商工会議所会員数+双海中山商工会会員数		単位	社	区分年度	前年度	1年度	2年度	目標毎年度		
	指標設定の考え方	商工業の振興により事業者数が増加し、伊予商工会議所及び双海中山商工会の会員増に繋がるため。		⇒		目標	1040	1040				
	指標で表せない効果	店舗数や会員数の維持により、過疎化防止、高齢者等の利便性維持につながっている。				実績	1027	1002				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)											
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	各種事業を商工会議所及び商工会に対し実施することで、活動を活性化を積極的に推進することができた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3							
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		事業の方向性 所属長の課題認識	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 伊予商工会議所、双海中山商工会、伊予市商業協同組合の運営を支援することを目的に助成を行う事業であり、市内商工業の振興・活性化のため、事業を継続することが必要であると判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3								
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 行政評価委員会委員選定事業 中山・双海の商工業者が激減している。特に双海では食品小売店の減少だけでなく、1店あったガソリンスタンドさえもなくなった。生活をしていくうえでも地域経済活性化は欠かせないものであるため、双海中山商工会への指導、助言を積極的に行うこと。		
			<input type="checkbox"/>		一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。
			<input type="checkbox"/>		一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工団体の役員も固定化されているのではないかと。若い世代が積極的に担っていかないと、目先が変わらない。</li> <li>・各種事業が実際に効果があったか検証が必要である。せっかく実施するものであるなら、実効性がなくてはいけない。</li> <li>・このままで、商店街の空き店舗を37軒から20軒に減らす総合計画の目標が達成できるのかという心配がある。</li> <li>・会員でない若くて元気のある人たちに商工会議所の会員になってもらい、伊予市の商工業の活性化に尽力してもらうために知恵を絞る必要がある。</li> <li>・少子・高齢化の厳しい状況下で、若い人達の集客を得て頑張っている人達がいる。商工会議所も自立を目指すべき。</li> <li>・商業協同組合と商工会議所の会員は重複があるのだろう。補助金を受ける窓口を1つでなく、2つに分けているだけではないかと思われるでも仕方がない。全て市民の血税である。砂漠に水をまくようなことにならないように。</li> </ul>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	コメント欄	
	<input checked="" type="checkbox"/>	さらに重点化する。	少子高齢化や後継者不足等に悩む商工業者への支援、地域経済の振興・発展及び社会福祉の増進に資するため、引き続き効果的な事業の在り方を検討すること。
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	
<input type="checkbox"/>			